

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 中国ブロック支部</p>		<p>発行人:中国ブロック支部長 松下明 〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢 292-1 (岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック) Tel: 086-836-3012</p>
---	------------------------------------	--	--

【中国ブロック支部専攻医オリエンテーション】

2023 年の新専攻医オリエンテーションが島根県主催で以下の日程・内容で開催されました。

日時:2023 年 4 月 15 日(土)13:30~17:30

会場:zoom を用いたオンライン開催

対象者:

- ・日本プライマリ・ケア連合学会新家庭医療専門医研修を開始した専攻医
- ・日本専門医機構総合診療専門研修を開始した専攻医
- ・上記プログラムの 2~4 年次専攻医
- ・専門医、指導医、その他の職種
- ・初期研修医、医学生

内容:

第 1 部 専門研修を乗り切れ！

第 2 部 若手／かけだし総合診療医が気になっていること、興味を持っていること

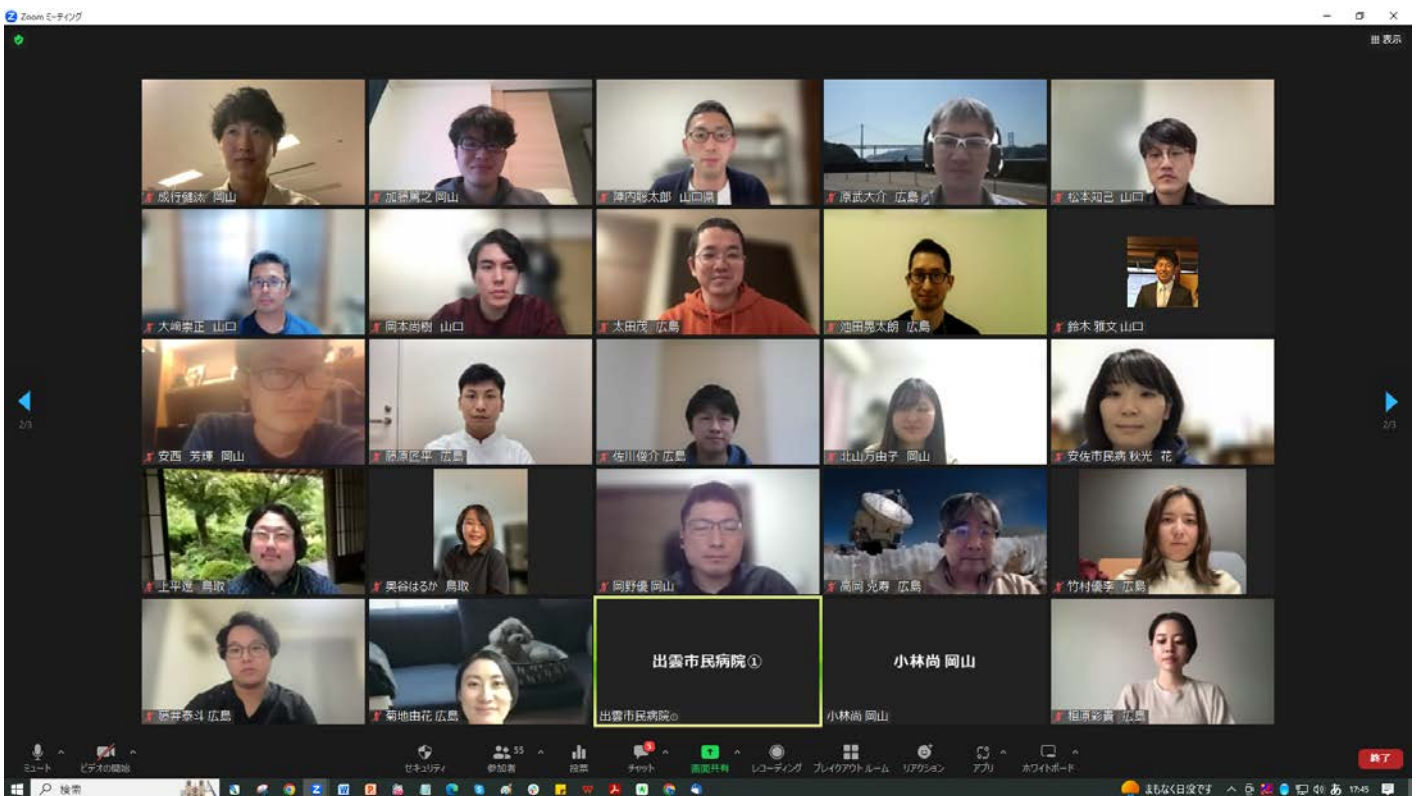
第 3 部 中堅総合診療医・指導医のやりがいと取り組み

第 4 部 我が家庭医人生、これまでとこれから

中国ブロック支部の新専攻医オリエンテーションを、2023 年 4 月 15 日(土)オンラインにて開催しました。今回のオリエンテーションは運営委員で意見を出し合い、新専攻医が総合診療医/家庭医として、今後のキャリアやその多様性が見え、その領域で従事するアイデンティティ形成の一助となるように、またオンライン開催ではありますが参加する医師が“ゆるく繋がれる”こと、をコンセプトとし企画や運営を行いました。

専門研修と家庭医療について(奈義ファミリークリニック松下明先生)のほか、若手／駆け出し総合診療医が気になっていること、興味を持っていること(谷口尚平先生、平岩千尋先生、吉村菜実先生)、なぜその道へ？専門医取得後の進路選択(玉井友里子先生、大村大輔先生)、ベテランにぶつけろ！ぶっこみ Q&A セッション(斎藤裕之先生、松下明先生)と題してそれぞれの先生からお話を頂いたあと、ブレイクアウトルームを利用して参加者同士が意見交換を行いその理解を深める、という形式で実施、終了後アンケートから「家庭医の今、これから、ずっと先のことがイメージできた」などのコメントがあったり、自分自身もふだんお話できない他県の先生と交流でき、楽しく学びある時間を過ごせたと感じています。

出雲家庭医療学センター出雲市民病院 上村祐介





【中国ブロック支部ポータル発表会】

オリエンテーションから遅れること1ヶ月半、6月10日午後ポートフォリオ発表会をオンラインで開催しました。70名の参加者が参加され中国地方だけでなく関東や東北地方からの参加者もいらっしゃいました。発表者は専攻医17名で、いずれも力作ぞろいで、年々レベルアップしていることを感じさせる出来上がりでした。

今回は、表者が何らかの学びを持ち帰ることを目的に、1人の発表者ごとに30分(発表8分、ディスカッション17分、フィードバックシート記入5分)をかけることとしました。3グループにわけ、5、6人の発表者の方と囲んで有意義なディスカッションを行うことができました。また、フィードバックは google spread sheet を用い、みなで1枚に書き込む形を取りました。事後のアンケートでも概ね好評で、オンラインでの学びの深め方の1つの方法としての可能性を感じました。

また、優秀賞などの賞は今回は設けず、グループごとに理事の先生に独断と偏見で一番好みのポートフォリオを選んでもらう形を取らせていただきました。少し時間が長かったですが、発表者、参加者ともに有意義な学びの時間を過ごせたことと思います。

浜田市国保診療所連合体 佐藤 誠





【m-HANDS 2022 第8回の報告】

中国ブロックでの指導医養成の報告

出雲家庭医療学センター大曲診療所 藤原和成
広島大学病院 総合内科・総合診療科 小林知貴
岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

【m-HANDS-FDF】

(modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship)

7年間にわたって継続してきた中国ブロックの指導医養成コースです。今年度もオンライン開催となりました。8月から3月まで、月に1回全8回のコースとして実施しています。

今年度も、JPCA-MLなどで募集して中国地方の指導医3名が参加中です。3名にはチームとして様々な課題に取り組んでもらっています。

以下に第8回に参加してくれた指導医からの報告の一部を掲載します。

2023年度も引き続き開催を予定しています、ご興味のある方はぜひご連絡下さい。

〈目的〉

中国ブロックの指導医の養成とプログラム運営の質向上を通して、プライマリ・ケアの普及と発展をめざす

〈対象〉

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を修了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

〈アウトカム〉

Core Competence : Adult Educator(成人学習支援者)

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる 参加者と講師による学習共同体の形成を勧め、ブロック内の指導医ネットワークを作る

机上のプログラム作成だけでなく、各現場での仕組みづくりや教育チーム形成ができる

総合診療の魅力やプログラムの魅力を効果的に伝えられる発信力や求心力を発揮できる

ツールの活用や工夫などで独創的で質の高い遠隔教育ができる

第8回 オンライン開催 2023年3月18日(土)

【卒業制作その後の発表会】

2021年度に m-HANDs を受講された先生が、卒業制作したカリキュラムを実際に運用しどうだったかを発表いただいた。机上でのカリキュラムを実際に行って、想定されていた結果が得られたり、想定外の結果がみられたこと、Hiddenカリキュラムの発見、実際は行わなくても教育効果があり、省いたものなど、カリキュラムを運用してみて初めてわかることがたくさんあると感じた。また、実際行ってみることで、よりよくカリキュラム変更できる過程をみることができ、実感した。自分自身が作成したカリキュラムを運用するためのイメージが具体化された。(植本真由)

【PF 発表会】全8回、計40時間にわたる m-HANDS 最後のセッションは PF 発表会だった。DTE への対応、陰性感情のマネジメント、心理的安全性に配慮したカリキュラム開発/フィードバック、生涯学習者を育てる姿勢など三者三様の振り返りとなった。それぞれ m-HANDS を通じて学んだ知識・技術をうまく使ってマネジメントできた事例であったと感じたし、その経験をフェロー間でシェアすることで、より学びが深まったと感じた。

指導医の先生方にはもちろん、8ヶ月間、一人だけではきっとここまで学びはなかったと思われたし、フェローのメンバーにも助けてもらってばかりで感謝しかない。今回できた繋がりを大事にし、蓄積した経験を来年度以降にしっかり

アウトプットしていけるよう、取り組んでいきたいと感じた。(陣内聡太郎)

第8回をもって、2022年度の中国ブロック指導医講習コース m-HANDS は終了いたしました。

前年度に引き続き完全オンラインでの実施となりました。オンラインを活用した教育にもずいぶん慣れてきたように感じます。一方で、対面で行うセミナーの良さもあり、2023年度は条件が許せば対面での教育活動も検討したいと考えています。

今年度の卒業生も、様々な課題を通してチームとして成長してくれました。このような指導医の共同体形成も、ブロック内の専攻医教育の質向上に貢献できているのではないかと考えます。

2023年度も引き続き開催を予定しております。教育に関わる専門職の皆様にはぜひご参加いただけると幸いです。

(m-HANDS コースディレクター 藤原和成)